



LAN 動作へのインターフェイス
の追加、リリース 12.1.3

目次

新規情報および変更情報	1
インターフェイス	2
インターフェイスの追加	7
サブ会議	9
ブレイクアウト解除	9
インターフェイスの編集	9
リンクに関連付けられたインターフェイスの編集	11
インターフェイスの削除	11
インターフェイスのシャットダウンと起動	11
インターフェイス構成の表示	12
インターフェイスの再検出	12
インターフェイス履歴の表示	12
インターフェイス構成の展開	13
外部ファブリック インターフェイスの作成	13
インターフェイス グループ	14
インターフェイス グループの作成	15
インターフェイス グループからのインターフェイスの削除	17
インターフェイス グループへのネットワークの接続	17
インターフェイス グループからのネットワークの切り離し	18
インターフェイス グループの削除	19
アウトオブバンド スイッチ インターフェイスの構成	20
ガイドライン	20
スイッチ インターフェイスの構成の同期	21
著作権	24

新規情報および変更情報

次の表は、この最新リリースまでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、今リリースまでの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

リリース バージョン	特長	説明
NDFC リリース 12.1.3	整理し直したコンテンツ	このドキュメント内のコンテンツは元来 『Cisco NDFC-Fabric Controller Configuration Guide』 または 『Cisco NDFC-SAN Controller Configuration Guide』 で提供されました。リリース 12.1.3 以降、このコンテンツは現在、本ドキュメントでのみ提供されており、これらのドキュメントでは提供されなくなっています。

インターフェイス

[インターフェイス (Interfaces)] オプションは、スイッチで検出されたすべてのインターフェイス、仮想ポート チャンネル (vPC) 、 およびデバイスに存在しない目的のインターフェイスを表示します。

無効なインターフェイスのエラーは、次のシナリオで発生します。

- ・ インターフェイス モードの「ルーテッド」が無効。許可されるモードはトランク & アクセス。
- ・ アクセスポートがすでに他のネットワークに割り当てられている。
- ・ インターフェイスがスイッチでは使用できない。

次の機能を使用できます。

- ・ ポート チャンネル、vPC、 Straight-through FEX、 Active-Active FEX、 ループバック、 およびサブインターフェイスを作成、展開、表示、編集、および削除します。

- ・ 次の機能は、Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I4(8b) および 7.0(4)I4(x) イメージを使用したスイッチのブラウн フィールド移行ではサポートされていません。

- X9500 ラインカードを搭載した Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチおよび Cisco Nexus 9500 シリーズ スイッチ以外のスイッチでの FEX

- AA-FEX

FEX のプラットフォーム サポートについては、プラットフォームと NX-OS のマニュアルを参照して、機能の互換性を確認してください。

- ファブリック内リンクやファブリック間リンクなどのファブリック リンクに関連付けられているインターフェイスを編集するには、[「リンクに関連付けられたインターフェイスの編集」](#)を参照してください。

- **flowcontrol** または **priority-flow-control** の構成は、HIF ポートまたはメンバーとしての HIF ポートではサポートされません。

- 設定に REST API を使用する場合は、プライマリフィールドと NV ペアフィールドに一貫した値を設定してください。たとえば、次のような特定のフィールドに異なる値を持つ単一のポートチャンネルの REST API ポストがあります。

- **ifName:** Port-testing123
- **PO_ID :** Port-channel1000

目的の単一のインターフェイスではなく、2 つのインターフェイスが作成されます。

- ・ Cisco Cloud Services Router 1000v シリーズ (Cisco CSR 1000v シリーズ) のトンネル インターフェイスを作成します。
- ・ ブレイクアウト ポートとアンブレイクアウト ポートを作成します。
- ・ インターフェイスをシャットダウンして起動します。
- ・ ポートを再検出し、インターフェイスの設定履歴を表示します。
- ・ インターフェイスおよび vPC にホストポリシーを適用します。たとえば、int_trunk_host、int_access_host などです。
- ・ インターフェイスの情報 (管理ステータス、動作ステータス、理由、ポリシー、速度、MTU、モード、VLAN、IP/プレフィックス、VRF、ポートチャンネル、インターフェイスのネイバーなど) を表示します。





[ネイバー (Neighbor)] 列には、検出された接続スイッチ、インテント リンク、および Virtual Machine Manager (VMM) 接続の詳細が表示されます。

[ステータス (Status)] 列に、インターフェイスの次のステータスが表示されます。

- ・ 青：保留中
- ・ 緑：同期/成功
- ・ 赤：非同期/失敗
- ・ 黄色：進行中
- ・ グレー：不明/ NA
- ・ インターフェイスがアウトオブバンドで作成された場合、このインターフェイスを削除するには、ファブリックの再同期を実行するか、構成コンプライアンスのポーリングを待機する必要があります。そうしないと、Config Compliance は正しい差分を生成しません。

ただし、ASR 9000 シリーズ ルータおよび Arista スイッチのインターフェイスを追加または編集することはできません。

特定のフィールド ([デバイス名 (Device Name)] など) の情報をフィルタリングおよび表示できます。次の表で、このページに表示されるボタンを説明します。



- ・ 適切な vPC ペア構成を含む、インターフェイス オプションから展開する前に、適切な構成がファブリックに展開されていることを確認します。構成をファブリックに展開する前にインターフェイスを追加または編集すると、デバイスで構成が失敗することがあります。
- ・ インターフェイス マネージャから構成を展開する前に、vPCペアリングを含むアンダーレイをファブリックに展開します。

フィールド	説明
インターフェイスの作成	ポート チャネル、vPC、Straight-through FEX、Active-Active FEX、ループバックなどの論理インターフェイスを追加できます。詳細については、「 インターフェイスの追加 」を参照してください。
サブインターフェイスの作成	論理サブインターフェイスを追加できます。
インターフェイスの編集	インターフェイスに関連付けられているポリシーを編集および変更できます。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> Access-admin ユーザー ロールは、Easy ファブリックのファブリック リンク間または、ファブリック リンク内のリンクポリシーに関連するインターフェイスを編集できません。このユーザー ロールは、LAN クラシックおよび IPFM ファブリックのインターフェイスを編集できます。 </div>
インターフェイスのプレビュー	インターフェイス構成をプレビューできます。
インターフェイスの展開	保存したインターフェイス設定を展開または再展開できます。
シャットダウンなし	インターフェイスを有効にできます (シャットダウンまたは管理起動なし)。
シャットダウン	インターフェイスをシャットダウンできます。
インターフェイスグループの追加	インターフェイス グループにインターフェイスを追加できます。

フィールド	説明
インターフェイスグループからの削除	インターフェイスグループからインターフェイスを削除できます。
サブ会議	インターフェイスをブレイクアウトできます。
ブレイクアウト解除	ブレイクアウト状態のインターフェイスをブレイクアウト解除できます。
インターフェイスの再検出	選択したインターフェイスのコンプライアンスステータスを再検出または再計算できます。
Show コマンド	interface show コマンドを表示できます。show コマンドを使用するには、テンプレートライブラリに show テンプレートが必要です。
展開履歴	インターフェイス展開履歴の詳細を表示できます。
インポート	<p>編集したインターフェイスをインポートできます。インターフェイスのインポート中の制限事項は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次のポリシー テンプレートを使用してインターフェイスをインポートすることはできません。 <ul style="list-style-type: none"> ○ int_fabric または int_ipfm_fabric を伴うすべてのファブリック テンプレート ○ int_vpc_peer および int_vpc_leaf_tor_assoc ○ int_freeform テンプレート ・ 必須フィールドのファブリック名、シリアル番号、インターフェイス名、およびポリシー名を更新する必要があります。 ・ <i>int_ipfm_vlan</i> ポリシーを除き、インターフェイス名が <i>nve</i> および <i>vlan</i> のインターフェイスはインポートできません。<i>int_ipfm_vlan</i> ポリシーを使用してインターフェイスをインポートできます。 ・ 整数値の許容 MTU 範囲は 576 ~ 9216 です。 ・ 許可される MTU 文字列値は、デフォルトまたは <i>jumbo</i> のいずれかです。 ・ ファブリック名、シリアル番号、およびインターフェイス名は一意である必要があります。 ・ .csv ファイルごとに、インターフェイスに対して 1 つのポリシー タイプのみをインポートできます。複数のポリシー タイプを持つ .csv ファイルをインポートすることはできません。 <p> インポートできるの最大行数を設定するサーバー プロパティがあります。デフォルトでは、インポートのプロパティは 200 です。</p>
エクスポート	<p>複数のタイプのポリシーを使用して、.csv ファイルに選択したインターフェイスをエクスポートすることを許可します。</p> <p>エクスポートするインターフェイスの数に技術的に制限はありませんが、エクスポートされる各 .csv ファイルに含まれるインターフェイスの数は、ページに表示される行数に制限されます。たとえば、ウィンドウ内のすべてのインターフェイスを選択し、ウィンドウの下部にある 【ページあたりの行数 (Rows per page)】 フィールドのエントリが 50 である場合、このページに表示されている 50 個のインターフェイスのみが .csv ファイルにエクスポートされます。</p>

フィールド	説明
インターフェイスの削除	[インターフェイス (Interfaces)] 画面から作成された論理インターフェイスを削除できます。オーバーレイとアンダーレイからアタッチされたポリシーを持つインターフェイスは削除できません。

次の表に、Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller リリース 11.5(1) からの [インターフェイス (Interfaces)] ウィンドウのホスト側ポートでの新しいユーザー ロール access-admin 操作のサポートを示します。

操作	ユーザ ロール
	access-admin
新しいインターフェイスの作成	保存、プレビュー、展開
サブ会議	ブロック済み
ブレイクアウト解除	ブロック
インターフェイスの編集	保存、展開
インターフェイスの削除	保存、展開
シャットダウン	保存、展開
シャットダウンなし	保存、展開
Show コマンド	出力のクリア、実行
インターフェイスの再検出	サポート対象
インターフェイスの展開	キャンセル、構成の展開
インポート	サポート対象
エクスポート	サポート対象

Nexus Dashboard Fabric Controller で展開を無効にしたり、ネットワーク管理者としてファブリックをフリーズしたりできます。ただし、ファブリックをフリーズする場合、またはファブリックがモニタモードの場合、すべてのアクションを実行することはできません。

次の表に、ファブリックをフリーズするとき、およびファブリックのモニタ モードを有効にするときに実行できるアクションを示します。

操作	Nexus Dashboard Fabric Controller モード	
	フリーズ モード	モニタ モード
追加	保存、プレビュー	ブロック
サブ会議	ブロック済み	ブロック済み
ブレイクアウト解除	ブロック済み	ブロック済み
編集	保存、プレビュー	ブロック
削除	保存、プレビュー	ブロック
シャットダウン	保存、プレビュー	ブロック
シャットダウンなし	保存、プレビュー	ブロック
表示	サポート対象	サポート対象
再検出	サポート対象	サポート対象

展開	ブロック済み	ブロック済み
インポート	サポート対象	サポート対象
エクスポート	サポート対象	サポート対象

関連付けられた操作のボタンは、それに応じてグレー表示されます。

構成プロファイルの一部である SVI で管理操作 (shutdown/no shutdown) を実行すると、連続した**保存して展開**操作で **no interface vlan** コマンドが生成されます。

ポリシーのない SVI の場合、管理操作の実行時、つまり **Interface Manager** から shutdown/no shutdown コマンドがプッシュされると、**int_vlan_admin_state** ポリシーが SVI に関連付けられます。

たとえば、**switch_freeform** から SVI を作成して展開します。

```
interface vlan1234
  description test
  no shutdown
  no ip redirects
  no ipv6 redirects
```

インターフェイス マネージャから SVI をシャットダウンすると、**int_vlan_admin_state** ポリシーが SVI に関連付けられます。

保留中の差分は次のように表示されます。

```
interface Vlan1234
  shutdown
  no ip redirects
  no ipv6 redirects
  description test
  no shutdown
```

自由形式の構成から **no shutdown CLI** を削除します。

ユーザーが SVI で管理操作を実行した場合、デバイスには実行構成のインターフェイスがあります。したがって、ネットワーク切断後の **interface vlan** は引き続き存在し、インターフェイスが検出されます。**Interface Manager** からインターフェイスを手動で削除する必要があります。

次の表に、**[LAN] > [Interfaces] > [Interfaces]**に表示されるフィールドを示します。

フィールド	説明
ファブリック名	ファブリック名を指定します。
デバイス名	デバイス名を指定します。
インターフェイス	インターフェイス名を指定します。

フィールド	説明
Admin Status	インターフェイスの管理ステータスを指定します。ステータスは [Up] または [Down] です。
Oper-Status	インターフェイスの操作ステータス。ステータスは [Up] または [Down] です。
理由	理由を指定します。
ポリシー	ポリシー名を指定します。
オーバーレイ ネットワーク	オーバーレイ ネットワークを指定します。
同期ステータス	同期ステータスを指定します。インターフェイスのステータスが同期中か同期外を指定します。
インターフェイス グループ	インターフェイスが属するインターフェイス グループを指定します。
ポートチャンネルID	ポート チャンネル ID を指定します。
vPC ID	vPC ID を指定します。
スピード	インターフェイスの速度を指定します。
最大伝送ユニット (MTU)	MTU のサイズを指定します。
モード (Mode)	インターフェイス モードを指定します。
VLAN	VLAN を設定します。
IP/プレフィックス	インターフェイスの IP/プレフィックスを指定します。
VRF	仮想ルーティングおよび転送 (VRF) インスタンス
ネイバー	インターフェイス ネイバーを指定します。
説明	<p>インターフェイスの説明を指定します。</p> <div style="border-left: 1px solid #ccc; padding-left: 10px; margin-top: 10px;">  <p>インターフェイスの説明が 64 文字を超える場合は、snmp ifmib ifalias long コマンドを使用してスイッチを構成する必要があります。</p> </div>

インターフェイスの追加

Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web UIから IT ペアを表示するには、次の手順を実行します。

1. **[LAN] > [インターフェイス (Interfaces)] > [インターフェイス (Interfaces)]** を選択します。
2. 論理インターフェイスを追加するには、**[アクション (Actions)] > [新しいインターフェイスの作成 (Create new interface)]** をクリックします。

[新しいインターフェイス (New Interfaces)] ウィンドウが表示されます。

3. **[タイプ (Type)]** ドロップダウン リストから、インターフェイス タイプを選択します。

有効な値は、ポートチャンネル、仮想ポートチャンネル (vPC)、ストレート (ST) FEX、アクティブ-アクティブ (AA) FEX、ループバック、サブインターフェイス、トンネル イーサネット、およびスイッチ仮想インターフェイス (SVI) です。インターフェイス タイプを選択すると、それぞれのインターフェイス ID フィールドが表示されます。

- Nexus Dashboard Fabric Controller を通じてポート チャネルを作成する場合は、同じ速度のインターフェイスを追加します。さまざまな速度のインターフェイスから作成されたポート チャネルは起動しません。たとえば、2つの 10 ギガビット イーサネット ポートを持つポート チャネルが有効です。ただし、10 ギガビット イーサネット + 25 ギガビット イーサネット ポートの組み合わせを持つポート チャネルは無効です。

- vPC ホストを追加するには、ファブリック トポロジで vPC スイッチを指定し、**[展開の保存 (Save Deploy)]** オプションを使用して vPC およびピアリンク構成を展開する必要があります。vPC ペアの設定が展開されると、**[vPC ペアの選択 (Select a vPC pair)]** ドロップダウン ボックスに表示されます。

int_vpc_trunk_hostポリシーを使用して vPC を作成できます。

- サブインターフェイスを追加する場合は、**[追加 (Add)]** ボタンをクリックする前に、インターフェイス テーブルからルーテッド インターフェイスを選択する必要があります。

- **[インターフェイス (Interface)]** ウィンドウでイーサネット インターフェイスを事前プロビジョニングできます。この事前プロビジョニング機能は、Easy、eBGP、および外部ファブリックでサポートされています。

- イーサネット インターフェイスを事前プロビジョニングした後、物理インターフェイスのサブインターフェイスを事前プロビジョニングできます。

4. **[デバイスの選択 (Select device)]** フィールドで、デバイスを選択します。

デバイスは、ファブリックおよびインターフェイス タイプに基づいてリストされます。vPC またはアクティブからアクティブ FEX の場合は、vPC スイッチペアを選択します。

5. 選択したインターフェイスに基づいて、表示される各インターフェイスIDフィールド (**ポートチャネル ID、vPC ID、ループバック ID、トンネル ID、インターフェイス名、VLAN ID、およびサブインターフェイス ID**) に ID 値を入力します。

この値は上書きできます。新しい値は、リソース マネージャ プールで使用可能な場合にのみ使用されます。それ以外の場合は、エラーになります。

6. **[ポリシー (Policy)]** フィールドで、インターフェイスに適用するポリシーを選択します。

このフィールドには、インターフェイスのタイプに基づいてフィルタリングされた、*interface_edit_policy* のインターフェイス Python ポリシーのみが表示されます。

_upg インターフェイス ポリシーを作成しないでください。たとえば、**vpc_trunk_host_upg**、**port_channel_aa_fex_upg**、**port_channel_trunk_host_upg**、および **trunk_host_upg** オプションを使用してポリシーを作成することはできません。



ポリシーは、**[タイプ (Type)]** で選択したインターフェイスタイプに基づいてフィルタリングされます。ドロップダウン リストと、**[デバイスの選択 (Select a device)]** ドロップダウン リストで選択したデバイスに基づきインターフェイスに基づいてフィルタリングされます。

7. **[ポリシー オプション (Policy Options)]** の必須フィールドに値を入力します。

フィールドは、選択したインターフェイス タイプによって異なります。



Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller リリース 11.5(1) 以降では、vPC の作成時に Peer-1 の設定を Peer-2 にミラーリングできます。**[構成ミラーリングの有効化 (Enable Config Mirroring)]** チェックボックスをオンにすると、**[Peer-2]** フィールドがグレー表示されます。**[Peer-1]** フィールドに入力した設定は、**[Peer-2]** フィールドにコピーされます。

Cisco NDFC リリース 12.1.2e 以降では、**int_trunk_host** または **int_port_channel_trunk_host**、または **int_vpc_trunk_host** ポリシー テンプレートをもつインターフェイスに対してネイティブ VLAN を設定できます。

トランク ポートは、タグなしパケットとタグ付きパケットを同時に伝送できます。デフォルトのポート VLAN ID をトランク ポートに割り当てると、すべてのタグなしトラフィックが、そのトランクポートのデフォルトのポート VLAN ID で伝送され、タグなしトラフィックはすべてこの VLAN に属するものと見なされます。この VLAN のことを、トランク ポートのネイティブ VLAN ID といいます。つまり、トランク ポートでタグなしトラフィックを伝送する VLAN がネイティブ VLAN ID となります。

8. **[保存 (Save)]** をクリックして、構成を保存します。



インターフェイスに QoS ポリシーを適用するには、参照を使用してインターフェイスの自由形式を作成します。

保存された設定のみがデバイスにプッシュされます。インターフェイスの追加中は、最初の保存後のみポリシー属性を変更できます。すでに使用されている ID を使用しようとする、リソースが割り当てられないというエラーが発生します。

9. 新しいインターフェイスの設定を表示するには、**[ポリシー (Policies)]** タブでポリシー名をダブルクリックします。

10. **[プレビュー (Preview)]** オプションをクリックして、展開する構成をプレビューします。

11. **[展開 (Deploy)]** をクリックして、指定した論理インターフェイスを展開します。

新しく追加したインターフェイスが画面に表示されます。

サブ会議

Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web UI からインターフェイスをブレイクアウトするには、次の手順を実行します。

1. **[インターフェイス (Interface)]** ウィンドウで、**ActionsBreakout** をクリックします。

[ブレイクアウト インターフェイス (Breakout Interfaces)] ウィンドウが表示されます。

2. ウィンドウで必要なオプションを選択し、**[ブレイクアウト (Breakout)]** をクリックします。

使用可能なオプションは、10g-4x、25g-4x、50g-2x、50g-4x、100g-2x、100g-4x、200g-2x、および Unbreakout です。

ブレイクアウト解除

ブレイクアウト状態にあるインターフェイスをブレイクアウト解除できます。

[インターフェイス (Interface)] ウィンドウで、**[アクション (Actions)]** > **[ブレイクアウト解除 (UnBreakout)]** をクリックします。



ブレイクアウト状態ではないインターフェイスの場合、ブレイクアウト解除オプションはグレー表示されます。

インターフェイスの編集

Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web UI からインターフェイスを編集するには、次の手順を実行します。



[**インターフェイスの編集 (Edit Interface)**] では、ポリシーを変更したり、ポート チャンネルまたは vPC からインターフェイスを追加または削除したりできます。

1. [**LAN**] > [**インターフェイス (Interfaces)**] の順に選択します。

[**アクション (Actions)**] メニューの [**ブレイクアウト (breakout)**] オプションを使用して、インターフェイスをブレイクアウトおよびブレイクアウト解除できます。

2. インターフェイスまたは vPC を編集するには、インターフェイス チェックボックスをオンにします。

複数のインターフェイスを編集するには、対応するチェックボックスをオンにします。複数のポートチャンネルおよび vPC を編集することはできません。異なるタイプのインターフェイスを同時に編集することはできません。

3. インターフェイスを編集するには、[**アクション (Actions)**] > [**編集 (Edit)**] をクリックします。

[**インターフェイスの編集 (Edit interface)**] ウィンドウに表示される変数は、テンプレートとそのポリシーに基づいています。適切なポリシーを選択します。ポリシーを保存し、同じものを展開します。このウィンドウには、インターフェイスの種類に基づいてフィルタリングされた、*interface_edit_policy* タグが付いたインターフェイス Python ポリシーのみが表示されます。

vPC のセットアップでは、2 つのスイッチは、編集ウィンドウに表示されるスイッチ名の順序になります。たとえば、スイッチ名が *LEAF1:LEAF2* と表示されている場合、Leaf1 はピア スイッチ 1、Leaf2 はピア スイッチ 2です。

スイッチへのオーバーレイ ネットワークの展開中に、ネットワークをトランク インターフェイスに関連付けることができます。トランク インターフェイスとネットワークの関連付けは、[**インターフェイス (Interfaces)**] タブに反映されます。このようなインターフェイスを更新できます。

PVLAN インターフェイスの場合、インターフェイスをネットワークに関連付けることができるのは、アクセス ポート タイプとトランク ポート タイプだけです。

[**LAN**] > [**インターフェイス (Interfaces)**] > [**インターフェイス (Interfaces)**] 画面から作成されていないインターフェイス ポリシーの場合、一部の設定を編集できますが、ポリシー自体は変更できません。編集できないポリシーとフィールドはグレー表示されます。

次に、編集できないポリシーの例を示します。

- ループバック インターフェイス ポリシー : *int_fabric_loopback* ポリシーは、ループバック インターフェイスを作成するために使用されます。ループバック IP アドレスと説明は編集できますが、*int_fabric_loopback* ポリシー インスタンスは編集できません。

VRF の作成および接続時に自動的に作成されるループバック インターフェイスのループバック IP アドレスは編集できません。

- ファブリック アンダーレイ ネットワーク インターフェイス ポリシー (*int_fabric_num* など) およびファブリック オーバーレイ ネットワーク インターフェイス (NVE) ポリシー。
- vPC に関連付けられたポート チャンネルおよびメンバーポートを含む、ポート チャンネルおよびポート チャンネルのメンバー ポートに関連付けられたポリシー。
- ネットワークおよび VRF の作成時に作成された SVI。関連付けられた VLAN がインターフェイス リストに表示されます。

リンクに関連付けられたインターフェイスの編集

リンクには、ファブリック内リンクとファブリック間リンクの 2 種類があります。名前が示すように、ファブリック内リンクは同じ Easy ファブリック内のデバイス間に設定され、通常はスパイン リーフ接続に使用されます。ファブリック間リンクは、Easy ファブリックと、通常は他の外部または Easy ファブリック間に設定されます。外部 WAN や DC I 接続に使用されます。ポリシーは、リンクの両端に適用される設定を効果的に示す各リンクに関連付けられます。つまり、リンク ポリシーは、リンクを形成する2つのインターフェイスに関連付けられた個々の子インターフェイス ポリシーの親になります。このシナリオでは、リンク ポリシーを編集して、説明、IP アドレス、インターフェイスごとの自由形式の設定などのインターフェイス ポリシー フィールドを編集する必要があります。次の手順は、リンクに関連付けられたインターフェイスを編集する方法を示しています。

1. **[LAN] > [インターフェイス (Interfaces)] > [インターフェイス (Interfaces)]** を選択します。
2. リンクを選択し、**[アクション (Actions)] > [詳細 (More)] > [インターフェイスの再検出 (Rediscover Interface)]** の順にクリックします。

インターフェイスの削除

Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web UI からインターフェイスを削除するには、次の手順を実行します。



- このオプションを使用すると、論理ポート、ポート チャネル、および vPC のみを削除できます。オーバーレイまたはアンダーレイ ポリシーがアタッチされていない場合は、インターフェイスを削除できます。
- ポート チャネルまたは vPC が削除されると、対応するメンバー ポートにデフォルトポリシーが関連付けられています。デフォルト ポリシーは、server.properties ファイルで構成できます。

1. **[LAN] > [インターフェイス (Interfaces)] > [インターフェイス (Interfaces)]** を選択します。
2. インターフェイスを選択し、**[アクション (Actions)]**、**[その他 (More)]**、**[インターフェイスの削除 (Delete Interface)]** を選択します。

ファブリック アンダーレイで作成された論理インターフェイスは削除できません。

3. **[保存 (Save)]** をクリックします。
4. **[展開 (Deploy)]** をクリックして、インターフェイスを削除します。

インターフェイスのシャットダウンと起動

シャットダウンし、Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web UI からインターフェイスを呼び出すには、次の手順を実行します。

1. **[LAN] > [インターフェイス (Interfaces)] > [インターフェイス (Interfaces)]** を選択します。
2. シャットダウンまたは起動するインターフェイスを選択します。

注：VLAN を除くすべてのインターフェイスについて、ポリシーが適用されていないインターフェイスでシャットダウンまたはシャットダウンなしを実行することはできません。

3. [シャットダウン (Shutdown)] をクリックして、選択したインターフェイスを無効にします。たとえば、ネットワークからホストを分離したり、ネットワーク内でアクティブでないホストを分離したりできます。変更を保存、プレビュー、および展開できる確認ウィンドウが表示されます。
4. [保存 (Save)] をクリックして、変更をプレビューまたは展開します。
5. [シャットダウンなし (No Shutdown)] をクリックして、選択したインターフェイスを起動します。変更を保存、プレビュー、および展開できる確認ウィンドウが表示されます。
6. [保存 (Save)] をクリックして、変更をプレビューまたは展開します。

インターフェイス構成の表示

Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web UI からインターフェイス構成コマンドを表示して実行するには、次の手順を実行します。

1. [LAN] > [インターフェイス (Interfaces)] > [インターフェイス (Interfaces)] を選択します。
2. 設定を表示するインターフェイスを選択し、[アクション (Actions)] > [詳細 (More)] > [Show コマンド] を選びます。
3. [インターフェイス表示コマンド (Interface show commands)] ウィンドウで、[コマンド (Commands)] ドロップダウン ボックスからアクションを選択し、[実行 (Execute)] をクリックします。

インターフェイス設定が画面の右側に表示されます。

Show コマンドの場合は、インターフェイスで対応する **show** テンプレート、またはポート チャネルや vPC などのインターフェイス サブタイプをテンプレートで定義する必要があります。

インターフェイスの再検出

Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web UI からインターフェイスを再検出するには、次の手順を実行します。

1. [LAN] > [インターフェイス (Interfaces)] > [インターフェイス (Interfaces)] を選択します。
2. 再検出するインターフェイスを選択し、[アクション (Actions)] > [詳細 (More)] > [インターフェイスの再検出 (Rediscover Interface)] の順にクリックして、選択したインターフェイスを再検出します。たとえば、インターフェイスを編集または有効にした後、インターフェイスを再検出できます。

インターフェイス履歴の表示

Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web UI からインターフェイス履歴を表示するには、次の手順を実行します。

1. [LAN] > [インターフェイス (Interfaces)] > [インターフェイス (Interfaces)] を選択します。
2. インターフェイスを選択し、[アクション (Actions)] > [詳細 (More)] > [Deployer 履歴 (Deployer History)] をクリックして、インターフェイスの構成履歴を表示します。

3. [ステータス (Status)] をクリックして、その構成インスタンスに設定されている各コマンドを表示します。

インターフェイス構成の展開

Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web UI からインターフェイスを展開するには、次の手順を実行します。

1. [LAN] > [インターフェイス (Interfaces)] > [インターフェイス (Interfaces)] を選択します。
2. 展開するインターフェイスを選択し、[アクション (Actions)] > [インターフェイスの展開 (Deploy Interfaces)] をクリックして、インターフェイスに保存されている設定を展開または再展開します。



複数のインターフェイスを選択し、保留中の設定を展開できます。

インターフェイス設定を展開すると、インターフェイス ステータス情報が更新されます。ただし、全体的なスイッチレベルの状態は保留状態（青色）になることがあります。インターフェイス、リンク、ポリシー テンプレートの更新、トップダウンなどのいずれかのモジュールからインテントが変更されると、スイッチ レベルの全体的な状態は保留状態になります。保留状態では、スイッチに保留中の設定またはスイッチ レベルの再計算がある場合があります。スイッチ レベルの再計算は、次の場合に発生します。

- スイッチに展開する
- 展開中
- 毎時同期中

外部ファブリック インターフェイスの作成

外部ファブリック デバイスのポート チャネル、vPC、サブインターフェイス、およびループバック インターフェイスを追加および編集できます。ストレート FEX およびアクティブ-アクティブ FEX 機能は追加できません。

ブレイクアウト ポート機能は、外部ファブリックの Cisco Nexus 9000、3000、および 7000 シリーズスイッチでのみサポートされます。

外部ファブリック デバイ스에 인터フェイスを追加すると、リソース マネージャはデバイスと同期しません。そのため、ID フィールドに入力された値（ポート チャネルID、vPC ID、ループバック ID など）がスイッチで事前に設定されていないことを確認します。

外部ファブリックでポートチャネルを設定する場合は、ポート チャネルが構成されるスイッチに機能 lacp ポリシーを追加して展開する必要があります。

外部ファブリックが [ファブリック モニタ モードのみ (Fabric Monitor Mode Only)] に設定されている場合は、そのスイッチに設定を展開できません。ファブリック トポロジ画面で [保存して展開 (Save & Deploy)] をクリックすると、エラー メッセージが表示されます。ただし、次の設定（スイッチ アイコンを右クリックすると使用可能）が許可されます。

- ・ vPC ペ어링：vPC スイッチ ペアを指定できますが、これは参照用です。
- ・ ポリシーの表示/編集：ポリシーを追加できますが、スイッチに展開することはできません。
- ・ インターフェイスの管理：インターフェイスを追加する目的のみを作成できます。インターフェイスを展開、編集、または削除しようとする、エラー メッセージが表示されます。

インターフェイス グループ

インターフェイス グループは、同じ属性を持つ複数のインターフェイスで構成されます。ファブリック レベルでホスト側のインターフェイスをグループ化できるインターフェイス グループを作成できます。具体的には、物理イーサネット インターフェイス、レイヤ 2 ポート チャンネル、および vPC のインターフェイス グループを作成できます。インターフェイス グループのインターフェイスに複数のオーバーレイ ネットワークを接続または接続解除できます。

共有ポリシー

Cisco NDFC リリース 12.1.2e 以降では、インターフェイス グループの共有ポリシーを作成および追加できます。このポリシーは、インターフェイス グループ内のすべてのインターフェイスの適切な構成の更新を保証します。共有ポリシーでは、すべてのインターフェイスに同じアンダーレイ属性とオーバーレイ属性があります。共有ポリシーの構成を変更すると、その構成はすべてのインターフェイスに適用されます。

[**ポリシー (Policies)**] 列で共有ポリシーの詳細を確認できます。

カスタムポリシーは、テンプレートリストからポリシーを選択して作成し、[**テンプレートを複製 (Duplicate Template)**] して追加情報を追加することもできます。共有ポリシーには、**interface_edit_policy**、**interface_edit_shared_policy**、および **int_trunk** のタグが含まれている必要があります。

ガイドライン

- ・ インターフェイス グループは、次のファブリック テンプレートタイプにのみサポートされます。
 - **データ センター VXLAN EVPN**
 - **拡張クラシック LAN**
- ・ インターフェイス グループは、ファブリックに固有です。たとえば、2 つのファブリック (Fab1 と Fabric 2) を考えます。Fab1 のインターフェイス グループ IG1 は、Fab 2 には適用されません。
- ・ インターフェイス グループは、特定のタイプのインターフェイスのみを持つことができます。たとえば、物理イーサネット トランク インターフェイスの場合は IG1、レイヤ 2 トランク ポート チャンネルの場合は IG2、vPC ホスト トランク ポートの場合は IG3 など、3 つのタイプのインターフェイスをグループ化する場合は、3 つの個別のインターフェイス グループが必要です。
- ・ インターフェイス グループは、事前プロビジョニングされたインターフェイスを使用して作成することもできます。
- ・ インターフェイス グループは、リーフ ロールまたはボーダー ロールを持つスイッチに対してのみサポートされます。ボーダー ゲートウェイ ロールの場合、インターフェイス グループは vPC BGW でのみサポートされ、エニーキャスト BGW、BGW スパイン、または BGW スーパー スパインではサポートされません。
- ・ Cisco NDFC リリース 12.1.2e 以降では、レイヤ 2 ToR インターフェイスをインターフェイス グループに含めることができます。
- ・ 共有ポリシーを使用してインターフェイス グループに追加されたインターフェイスは、個々のポリシーを置き換え、共有ポリシーを取得します。
- ・ インターフェイス グループ内の各インターフェイスの説明とステータスを変更できます。
- ・ 共有ポリシーを持つインターフェイス グループから削除されたインターフェイスは、デフォルト ポリシーに設定されます。
- ・ VM は、共有ポリシーの下すべてのインターフェイスで同じ設定にする必要があります。
- ・ 共有ポリシーは、インターフェイス グループの**イーサネット** インターフェイス タイプでのみサポートされます。

- ・イーサネット インターフェイス グループに共通のポリシーが設定されるようになりました。
- ・ポート チャンネルおよび vPC インターフェイス タイプは、インターフェイス グループに共有ポリシーを追加するためにサポートされていません。
- ・共有ポリシーの MTU 値を変更する必要がある場合は、そのファブリックのすべてのスイッチで同じ値でファブリック設定を更新してください。
- ・共有ポリシーの **ptp**、**ttag**、および **ttag-strip** オプションを使用する必要がある場合は、ファブリック設定で PTP をグローバルに有効にしてください。
- ・netflow オプションを使用する必要がある場合は、インターフェイス グループのすべてのインターフェイスが netflow 構成に対応しており、ファブリック設定でグローバルに有効になっていることを確認します。
- ・インターフェイス グループの一部であるレイヤ 2 ポート チャンネルおよび vPC の場合、インターフェイス グループに関連付けられているネットワークがない場合でも、それらはインターフェイス グループから関連付け解除されるまで削除できません。同様に、オーバーレイ ネットワークを持たない IG の一部であるトランク ポートは、アクセス ポートに変換できません。つまり、インターフェイス グループの一部であるインターフェイスのポリシーは変更できません。ただし、ポリシーの特定のフィールドは編集できます。
- ・リーフ スwitch の L4~L7 サービス設定では、サービス接続に使用されるトランク ポートをインターフェイス グループの一部にすることはできません。
- ・イージー ファブリックのファブリック単位のバックアップを実行すると、そのファブリックで作成されたインターフェイス グループがある場合、関連するすべてのインターフェイス グループの状態がバックアップされます。
- ・イージー ファブリックにインターフェイス グループが含まれている場合、このファブリックは MSO にインポートできません。同様に、イージー ファブリックが MSO に追加されている場合は、イージー ファブリック内のスイッチに属するインターフェイスのインターフェイス グループを作成できません。
- ・[インターフェイス グループ (Interface Group)] および [インターフェイス グループから削除 (Remove from Interface Group)] ボタンは、管理者およびステージャ ユーザーに対してのみ有効です。他のすべてのユーザの場合、このボタンは無効になります。
- ・[インターフェイス グループ (Interface Group)] ボタンは、次の状況では無効になります。
 - vPC、ポート チャンネル、およびイーサネット以外の他のインターフェイスを選択します。
 - インターフェイスに別の送信元からのポリシーがアタッチされている場合：
 - インターフェイスがポート チャンネルまたは vPC のメンバーである場合。
 - ポート チャンネルが vPC のメンバーである場合。
 - インターフェイスにアンダーレイまたはリンクからのポリシーがある場合。



異なるタイプのインターフェイスを選択すると、[インターフェイス グループ (Interface Group)] ボタンが有効になります。ただし、インターフェイス グループ に対して異なるタイプのインターフェイスを作成または保存しようとする、エラーが表示されます。

インターフェイス グループの作成

Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web UI からインターフェイス グループを作成するためには、次の手順を実行します。

1. [LAN] > [インターフェイス (Interfaces)] > [インターフェイス グループ (Interface Groups)] の順に選択します。

2. **[アクション (Actions)] > [新しいインターフェイス グループの作成 (Create new interface group)]** をクリックします。
3. **[ファブリックの選択 (Select Fabric)]** ウィンドウで、ファブリックを選択し、**[選択 (Select)]** をクリックします。
4. **[新しいインターフェイス グループの作成 (Create new interface group)]** ウィンドウで、**[インターフェイス グループ名 (Interface Group Name)]** フィールドにインターフェイス グループ名を入力し、インターフェイス タイプを選択して、**[保存 (Save)]** をクリックします。

インターフェイス グループ名の最大長は 64 文字です。



インターフェイスは、1つのインターフェイス グループにのみ属することができます。

5. **[ポリシー (Policy)]** フィールドをクリックします。

[ポリシーの選択 (Select Policy)] ウィンドウが表示されます。

6. **int_shared_trunk_host** ポリシーを選択し、**[選択 (Select)]** をクリックします。

Cisco NDFC リリース 12.1.2e から、**[新しいインターフェイス グループの作成 (Create new interface group)]** ウィンドウに新しい **[ポリシー (Policy)]** フィールドが導入されました。インターフェイス グループに共有ポリシーを追加できます。このポリシーは、そのグループに存在するインターフェイスで共有できます。共有ポリシーはオプションです。アップグレードの場合、既存のすべてのインターフェイスグループにポリシーはありません。



ポリシーフィールドは、**イーサネット** インターフェイスタイプのみをサポートします。

7. テキスト フィールドに必須パラメータを入力し、**[保存 (Save)]** をクリックします。
8. **[インターフェイス (Interfaces)]** タブで、グループ化するインターフェイスを選択し、**[アクション (Actions)] > [インターフェイスグループに追加 (Add to interface Group)]** の順に選択します。

[新規インターフェイス グループを追加 (Add New Interface Group)] ウィンドウが表示されます。

9. **[インターフェイス グループの選択 (Select Interface Group)]** フィールドにインターフェイス グループ名を入力してカスタム インターフェイス グループを作成し、**[カスタムの作成 (Create custom)]** をクリックします。

すでにインターフェイス グループを作成している場合は、**[インターフェイス グループの選択 (Select Interface Group)]** ドロップダウン リストから選択します。また、インターフェイスがすでにインターフェイス グループの一部である場合は、**[インターフェイス グループの選択 (Select Interface Group)]** ドロップダウン リストから新しいグループを選択することで、そのインターフェイスを別のインターフェイス グループに移動できます。

インターフェイス グループは、**[インターフェイス グループ (Interfaces Groups)]** ウィンドウまたは **[ファブリックの概要]** の **[インターフェイス (Interfaces)]** ウィンドウから作成できます。

10. **[保存 (Save)]** をクリックします。

[インターフェイス (Interfaces)] ウィンドウの **[インターフェイス グループ (Interfaces Groups)]** 列にインターフェイス グループ名が表示されます。

11. インターフェイス グループを編集するには、**[アクション (Actions)] > [インターフェイス グループの編集 (Edit Interface Group)]** の順に選択します。共有ポリシーを割り当てた後、ポリシー オプションを更新できます。



共有ポリシー テンプレートは編集または削除できません。

インターフェイス グループからのインターフェイスの削除

Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web UI からインターフェイス グループのインターフェイスを削除するためには、次の手順を実行します。

1. **[LAN] > [インターフェイス (Interfaces)]** の順に選択します。
2. インターフェイスグループから関連付けを解除するインターフェイスを選択し、**[アクション (Actions)] > [インターフェイスグループから削除 (Remove from interface Group)]** をクリックします。

関連付けられたすべてのインターフェイスをクリアするかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

3. **[はい (Yes)]** をクリックして続行します。

これらのインターフェイスに接続されているネットワークがある場合、**[クリア (Clear)]** をクリックすると、それらのネットワークも切断されます。

インターフェイス グループへのネットワークの接続

Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web UI からインターフェイス グループにネットワークを接続するためには、次の手順を実行します。

1. ファブリックをダブルクリックして、**[ファブリックの概要 (Fabric Overview)]** を起動します。
2. **[ネットワーク (Networks)]** タブで、インターフェイス グループに接続する必要があるネットワークを選択し、**[インターフェイス グループ]** をクリックします。



オーバーレイ ネットワークは、複数のインターフェイス グループに属することができます。VLAN ID を持つネットワークのみを選択できます。それ以外の場合は、エラー メッセージが表示されます。

3. **[インターフェイス グループ (Interface Groups)]** ウィンドウで、次の操作を実行できます。

- **[インターフェイス グループの選択 (Select Interface Group)]** ドロップダウン リストから既存のインターフェイス グループを選択し、**[保存 (Save)]** をクリックします。

たとえば、3つのネットワークとインターフェイス グループ **test** を選択し、**[保存 (Save)]** ボタンをクリックすると、次の操作がバックグラウンドで実行されます。

- a. Nexus Dashboard Fabric Controller は、インターフェイス グループ **test** の一部であるインターフェイスを取得します。
- b. Nexus Dashboard Fabric Controller は、3つのネットワークがインターフェイス グループ **test** に追加されることを決定します。したがって、これらのネットワークは、インターフェイス グループ **test** の一部であるすべてのインターフェイスに自動接続されます。
- c. インターフェイスごとに、Nexus Dashboard Fabric Controller は、選択したネットワークごとに「switchport trunk allowed vlan add xxxx」コマンドを3回プッシュします。



Nexus Dashboard ファブリック コントローラにより、構成インテントの重複がないことを保証します。

[**クリア (Clear)**] ボタンをクリックすると、Nexus Dashboard Fabric Controller により [switchport trunk allowed vlan remove xxx] 構成インテントがプッシュされます。

- [**インターフェイス グループの選択 (Select Interface Group)**] フィールドにインターフェイス グループ名を入力してカスタム インターフェイス グループを作成し、[**新規インターフェイス グループ (Create new interface group)**] をクリックします。[**Save (保存)**] をクリックします。

このオプションを選択する場合は、このインターフェイス グループにインターフェイスを [**インターフェイス (Interfaces)**] ウィンドウに追加してください。その結果、Nexus Dashboard Fabric Controller は次の操作を実行します。

- インターフェイス グループに属していない既存のすべてのオーバーレイ ネットワークをこれらのインターフェイスから削除します。
- インターフェイス グループの一部であるが、まだこれらのインターフェイスに接続されていない新しいオーバーレイ ネットワークを追加します。
- インターフェイスをインターフェイスグループに関連付けることに関する詳細は、『[インターフェイス グループの作成](#)』を参照してください。

4. [**アクション (Actions)**] > [**再計算して展開 (Recalculate & Deploy)**] をクリックして、選択したネットワークをスイッチに展開します。

インターフェイス グループからのネットワークの切り離し

この手順では、[**ネットワーク (Networks)**] ウィンドウでインターフェイス グループからネットワークの接続を解除する方法を示します。また、[**インターフェイス (Interfaces)**] ウィンドウでインターフェイス グループからインターフェイスを削除すると、ネットワークの接続を解除できます。詳細については、『[インターフェイス グループからのインターフェイスの削除](#)』を参照してください。

1. ファブリックをダブルクリックして、[**ファブリックの概要 (Fabric Overview)**] を起動します。
2. [**ネットワーク (Networks)**] タブで、インターフェイス グループに接続する必要があるネットワークを選択し、[**インターフェイス グループへの追加 (Add to Interface Group)**] をクリックします。
3. [**インターフェイス グループに追加 (Add to Interface Group)**] ウィンドウで、[**インターフェイス グループの選択 (Select Interface Group)**] ドロップダウン リストからインターフェイス グループを選択し、[**クリア (Clear)**] をクリックしてネットワークの接続を解除します。
4. [**LAN**] > [**インターフェイス (Interfaces)**] に移動します。

[**オーバーレイ ネットワーク (Overlay Network)**] 列の下に、対応するインターフェイスの接続されていないネットワークが赤色で表示されます。ネットワークをクリックすると、取り消し線が引かれた設定が表示されます。

5. [**ネットワーク (Networks)**] タブに移動し、[**アクション (Actions)**] > [**再計算と展開 (Recalculate and Deploy)**] を選択します。

インターフェイス グループの削除

インターフェイス グループは、使用されていないときに自動的に削除されます。明示的な削除を実行するには、[インターフェイス グループ (Interface Group)]、[アクション (Actions)]、[インターフェイス グループの削除 (Delete Interface Group)] の順にクリックします。このチェックは、[インターフェイス グループの編集 (Edit Interface Group)] ウィンドウで [クリア (Clear)] ボタンをクリックするたびに実行されます。インターフェイスグループを明示的にクリーンアップする必要がある例外シナリオが存在する場合があります。

たとえば、インターフェイス グループ **storagelG** を作成し、それにインターフェイスを追加します。後で、インターフェイス マッピングを別のグループに変更します。したがって、インターフェイスを選択し、[インターフェイス グループ (Interface Group)] をクリックして [インターフェイス グループの編集 (Edit Interface Group)] ウィンドウを開きます。 **disklG** という名前の別のインターフェイス グループを選択します。現在、**storagelG** インターフェイス グループには、関連付けられているメンバー インターフェイスまたはネットワークがありません。この場合は、次の手順を実行します。

1. インターフェイスグループに属していないインターフェイスを選択します。
2. [インターフェイス グループ (Interface Group)] をクリックして [インターフェイス グループの編集 (Edit Interface Group)] ウィンドウを開きます。
3. [インターフェイス グループの選択 (Select Interface Group)] ドロップダウン リストから **StorageIG** インターフェイス グループを選択します。
4. [クリア (Clear)] をクリックします。

アウトオブバンド スイッチ インターフェイスの構成

Nexus Dashboard ファブリック コントローラの外部で (CLIをピア) 行われたインターフェイスレベルの設定は、Nexus Dashboard ファブリック コントローラに同期して、Nexus Dashboard ファブリック コントローラから管理できます。また、vPC ペア構成は自動的に検出され、ペアリングされます。これは、External_Fabric および Classic LAN ファブリックにのみ適用されます。vPC ペアリングは **vpc_pair** ポリシーで実行されます。



Nexus Dashboard ファブリック コントローラがスイッチを管理している場合は、すべての構成の変更は Nexus Dashboard ファブリック コントローラから開始され、スイッチで直接変更を行うことはありません。

インターフェイス構成が Nexus Dashboard ファブリック コントローラ インテントに同期されると、スイッチ構成が参照と見なされます。つまり、同期アップの終了時に、スイッチに存在する内容が Nexus Dashboard ファブリック コントローラ インテントに反映されます。再同期操作の前にそれらのインターフェイスに展開されていない Nexus Dashboard ファブリック コントローラ インテントがある場合、それらは失われます。

ガイドライン

- ・ [データ センター VXLAN EVPN (Data Center VXLAN EVPN)]、External_Fabric、および LAN_Classic [クラシック ローカル エリア ネットワーク (Classic LAN)] のファブリック テンプレートを使用してファブリックでサポートされています。
- ・ Cisco Nexus スイッチでのみサポートされます。
- ・ 再同期前にファブリック アンダーレイ関連ポリシーが関連付けられていないインターフェイスでサポートされます。たとえば、IFC インターフェイスとファブリック内リンクは再同期の対象になりません。
- ・ ホスト ポートの再同期にかかる時間は、同期するスイッチ/インターフェースの数によって異なります。
- ・ 再同期の前に関連付けられているカスタム ポリシー (Cisco Nexus Dashboard ファブリック コントローラに付属していないポリシー テンプレート) がないインターフェイスでサポートされます。
- ・ 再同期前に Cisco Nexus Dashboard ファブリック コントローラの機能やアプリケーションによってインテントが排他的に所有されていないインターフェイスでサポートされます。
- ・ インターフェイス グループが関連付けられていないスイッチでサポートされます。
- ・ インターフェイス モード (スイッチ ポートからルーテッド、トランクからアクセスなど) の変更は、そのインターフェイスに接続されたオーバーレイではサポートされません。

同期アップ機能は、次のインターフェイス モードおよびポリシーでサポートされます。

インターフェイス モード	ポリシー
トランク (スタンドアロン、po、および vPC PO)	<ul style="list-style-type: none">・ int_trunk_host・ int_port_channel_trunk_host・ int_vpc_trunk_host
アクセス (スタンドアロン、po、および vPC PO)	<ul style="list-style-type: none">・ int_access_host・ int_port_channel_access_host・ int_vpc_access_host

dot1qトンネル	<ul style="list-style-type: none"> ・ int_dot1q_tunnel_host ・ int_port_channel_dot1q_tunnel_host ・ int_vpc_dot1q_tunnel_host
ルーテッド	int_routed_host
loopback	int_freeform
sub-interface	int_subif
FEX (ST, AA)	<ul style="list-style-type: none"> ・ int_port_channel_fex ・ int_port_channel_aa_fex
ブレイクアウト	interface_breakout
nve	int_freeform (only in External_Fabric/Classic LAN)
SVI	int_freeform (only in External_Fabric/Classic LAN)
mgmt0	int_mgmt

Easy ファブリックでは、インターフェイスの再同期によって、インターフェイス上のアクセス VLAN または許可された VLAN に基づいて、ネットワーク オーバーレイ接続が自動的に更新されます。

再同期操作が完了すると、スイッチ インターフェイスのインテントを通常の Nexus Dashboard ファブリック コントローラ手順で管理できます。

スイッチ インターフェイスの構成の同期

NDFC からすべてのスイッチ構成を展開することをお勧めします。一部のシナリオでは、アウトオブバンドでスイッチ インターフェイスの構成を変更する必要がある場合があります。これにより、構成のずれが発生し、スイッチが同期外と報告されます。

NDFC は、アウトオブバンド インターフェイス構成を、変更を戻して同期し、そのインテントに合わせることをサポートしています。

注意事項と制約事項

次の制限は、スイッチ インターフェイス構成を NDFC に同期した後に適用されます。

- ・ この機能は、ToR/アクセス スイッチ、または ToR ペアリングが存在するリーフ スイッチではサポートされていません。
- ・ ポート チャネル メンバーシップの変更（ポリシーが存在する場合）はサポートされていません。
- ・ オーバーレイがアタッチされているインターフェイスのモードの変更（トランクからアクセスなど）はサポートされていません。
- ・ **インターフェイス グループ**に属するインターフェイスの再同期はサポートされていません。
- ・ **External_Fabric** および **Classic LAN** テンプレートの vPC ペアリングは、**vpc_pair** ポリシーで更新する必要があります。
- ・ 再同期は一連のスイッチに対して実行でき、必要に応じて繰り返すことができます。
- ・ ホスト ポートの再同期にかかる時間は、同期するスイッチ/インターフェイスの数によって異なります。

- ・ **データセンター VXLAN EVPN** ファブリックでは、VXLAN オーバーレイ インターフェイスのアタッチは、許可された VLAN に基づいて自動的に実行されます。

はじめる前に

- ・ インターフェイスの再同期を試みる前に、ファブリックのバックアップを作成することをお勧めします。
- ・ **External Fabric** および **Classic LAN** ファブリックで vPC ペアリングが正しく機能するには、両方のスイッチがファブリック内にあり、機能している必要があります。
- ・ スイッチが同期しており、スイッチ モードが移行またはメンテナンスでないことを確認します。
- ・ **[アクション (Actions)]** ドロップリストから **[検出 (Discovery)]** > **[再検出 (Rediscover)]** を選択して、NDFC が新しいインターフェイスやその他の変更を認識していることを確認します。

手順

1. **[LAN] > [ファブリック (Fabrics)]** を選択し、ファブリックをダブルクリックします。**[ファブリックの概要 (Fabric Overview)]** ウィンドウが表示されます。
2. **[スイッチ (Switch)]** タブをクリックして、スイッチがファブリックに存在し、vPC ペアリングが完了していることを確認します。
3. **[ポリシー (Policies)]** タブをクリックし、インターフェイス インテントの再同期が必要な 1 つ以上のスイッチを選択します。



- スイッチのペアが **no_policy** または **vpc_pair** のいずれかを使用してすでにペアリングされている場合は、ペアの一方のスイッチのみを選択します。
- スイッチのペアがまだペアリングされていない場合は、両方のスイッチを選択します。

4. **[アクション (Actions)]** ドロップダウンリストから **[ポリシーの追加 (Add Policy)]** を選択します。

[ポリシーの作成 (Create Policy)] ウィンドウを表示します。

5. **[ポリシーの作成 (Create Policy)]** ウィンドウで、**host_port_resync** を **[ポリシー (Policy)]** ドロップダウン リストから選択します。
6. **[保存 (Save)]** をクリックします。
7. スイッチの **[モード (Mode)]** 列をチェックして、それらが **[移行 (Migration)]** を報告していることを確認します。vPC ペアの場合、両方のスイッチが **Migration-mode** になります。
 - この手順の後、**[トポロジ (Topology)]** ビューのスイッチは **Migration-mode** になります。
 - いずれかのスイッチを移行モードにただけでも、vPC ペアの両方のスイッチが移行モードになります。
 - スイッチが意図せずに再同期モードになった場合は、**host_port_resync** ポリシー インスタンスを識別して **[ポリシー (Policies)]** タブから削除することで、通常モードに戻すことができます。
8. 構成の変更を NDFC に同期する準備ができたなら、**[スイッチ (Switches)]** タブに移動し、必要なスイッチを選択します。
9. **[再計算と展開 (Recalculate & Deploy)]** をクリックして、再同期プロセスを開始します。



このプロセスは、スイッチ構成のサイズと関連するスイッチの数によっては、完了するまでに時間がかかる場合があります。

10. 再同期操作中にエラーが検出されなかった場合は、**【構成の展開 (Deploy Configuration)】** ウィンドウが表示されます。インターフェイス インテントは NDFC で更新されます。



External_Fabric または Classic LAN ファブリックが**監視モード**の場合、ファブリックが読み取り専用モードであることを示すエラー メッセージが表示されます。このエラー メッセージは、再同期プロセスが失敗したことを意味するものではないため、無視してかまいません。

【構成の展開 (Deploy Configuration)】 ウィンドウを閉じると、スイッチが自動的に**移行モード**を終えたことが観察できます。ペアになっていなかった、または **no_policy** を使用してペアになっていた vPC ペアのスイッチは、ペアとして表示され、**vpc_pair** ポリシーに関連付けられます。



スイッチ用に作成された **host_port_resync** ポリシーは、再同期プロセスが正常に完了すると自動的に削除されます。

著作権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『INFORMATION PACKET』に記載されており、この参照により本マニュアルに組み込まれるものとします。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または黙示のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナルリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、RFP のドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Cisco および Cisco のロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認いただけます。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナー関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)

© 2017–2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.